

平成28年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立浦和高等学校)

目指す学校像	中高一貫教育校として、浦和中学校と連携を密にし、生徒の個性と能力を重視した特色ある教育活動を展開する。
重点目標	1 中高一貫教育校としての更なる充実 2 高い次元におけるバランスのとれた教育の充実 3 国際理解教育と開かれた学校づくりの推進

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)		学校関係者評価	
年度目標					年度評価(2月1日現在)		実施日 平成 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 中高一貫教育校として進路実績等で高い成果をあげている。今後さらに成果をあげるためにも、内部進学生と高校入学生がお互いに高め合い切磋琢磨する環境づくりを進め、学校全体の教育力向上を更に進めることが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 中高一貫教育の更なる充実 高校入学生と内部進学生が互いに高め合う教育の更なる推進 	<ol style="list-style-type: none"> 「チーム市立浦和」の合言葉の下に、中高合同の会議や研修会を更に充実させ、中高一貫教育校としての教職員間の連帯感を更に高める。 中高の間での情報提供や情報共有を通じて中高の指導体制及び教育活動を更に充実させる。 次世代シラバス検討委員会を中心に、内部進学生と高校入学生が互いに高め合う環境づくり・教育課程等を研究する。 	<ol style="list-style-type: none"> 中高合同の会議や研修会等の回数 中高合同の行事や高校へのつなぎ学習の状況 次世代シラバス検討委員会での検討の状況等 	<ol style="list-style-type: none"> 中高合同の校務委員会を9回、職員会議を12回実施した。さらに成績会議を中高合同とし、中高一貫教育校としての現状や課題を把握しながら更なる教育の充実を進めた。 中高の教員間で意見交換・情報共有し中高合同学校行事を滞りなく実施。つなぎ学習は7教科で37単位分実施。 次世代シラバス検討準備委員会を2回開催し、3校の他校視察を実施。教育課程の具体的な研究までは至らなかった。 	B	<ol style="list-style-type: none"> 「チーム市立浦和」の合言葉の下に、教職員の士気を一層高め、中高一貫教育校としての10年間を振り返り、現状や課題を踏まえながら次のステップを視野に入れ、学校全体の教育力の更なる向上を目指す。 中高合同学校行事について、目的・内容・効果を再確認し、より効果的な学校行事とする。 他校視察の結果を生かし、次世代シラバス検討準備委員会での議論を更に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 中高合同の会議を行うことで、生徒をどう育てていくか教職員間での意思統一もできる。中高一貫教育校ならではの取組であり、今後もぜひ続けてほしい。 中高一貫教育校として10年が経ち、中学と高校のつながりは進んできている。その意識を持ち続けることが大事であり、そうすれば今後も中高のつながりは進んでいくと考える。 内部進学生は80名の中で人間関係や役割が固定化してしまうことも考えられる。高校入学生と今まで以上に交流できる機会も必要ではないかと感じる。
2	<ul style="list-style-type: none"> 生徒や保護者の高いニーズに応える質の高い授業を実施し、学力を向上させ希望進路を実現させることが求められる。 将来の社会のリーダーに求められる高い規範意識と強い精神力やコミュニケーション能力を備えた「知・徳・体」のバランスのとれた人材を育てる教育の充実が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業力の向上及び進路実績 将来の社会のリーダーを育てる教育 	<ol style="list-style-type: none"> 学力向上委員会や進路指導部を中心に、学力向上や進路指導に組織的に取り組む。 生徒による授業評価、教員相互の授業見学を実施し、各教科の授業改善に生かす。 部活動を推奨するとともに、学校行事の充実を図る。 登下校時の交通マナー指導や女子生徒のスカート丈等の身だしなみ指導を徹底する。 「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止の取組を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センターの受験率・得点状況。国公立大学や難関大学合格者数。 生徒による授業評価の結果、授業見学の実施状況。 部活動の加入率や成績。 交通マナーの遵守や身だしなみの状況 いじめ防止のための取組やアンケート結果の状況。 	<ol style="list-style-type: none"> センター試験受験率は96.5%であり、得点平均も県公立高校の上位であった。 授業評価を2回実施しその結果をフィードバックした。年次研修の研究授業をはじめ、教科毎の授業見学を実施した。 運動部加入率70%、文化部加入率34.3%であった。インターアクト部、放送部、吹奏楽部、陸上部が全国の大会へ出場。 PTAと生徒指導部の連携した取組などにより、交通マナーや身だしなみを適正に維持。 いじめアンケートを毎学期実施し、いじめの早期発見に取り組んだ。また「いじめは絶対に許されない」という意識・雰囲気醸成に努めた。 	A	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試改革によって求められる学力を育成するための指導体制等を研究していく。 授業の質をさらに高め、進路実績に繋げる。また、学校全体での教員相互の授業見学については、その実施方法を検討する。 多くの部活動が関東大会や全国大会に出場することができるよう部活動を奨励する。 引き続き、登下校の交通マナーや身だしなみ指導を充実させ、規範意識を育てる。 いじめ防止基本方針に基づき、引き続きいじめのない学校づくり、安心・安全な学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のアンケート結果を見ると、授業についての部分で「そう思う」の割合をもっと高めていくことが必要であるように思う。そうすることで生徒が大学受験に対する自信をもっと持つことができるのではないかと考える。 登下校の交通マナーなどについて、家庭とも協力しながら、市立浦和の生徒としての自覚を持たせる指導も必要である。 スマートフォンの正しい使い方やお互いが声を出し、顔を合わせてコミュニケーションをすることができるような指導も必要であると感じる。 先生方の日頃の学習指導・部活動指導には大変感謝するとともに、頭の下がる思いである。今後も引き続き指導をお願いしたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 高い英語力とグローバルな視野を持ち、自分の意見を発信し、国際社会の中で主体的に行動できる人材の育成が求められる。 ホームページ、土曜公開授業、学校説明会、中学校訪問など様々な機会を活用し、本校の教育活動を発信することが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解教育の推進 開かれた学校づくりの推進 	<ol style="list-style-type: none"> 海外修学旅行や姉妹校との相互交流、留学生受入及び派遣など国際交流を推進する。 発表、討論等の言語活動を高度化した英語教育等アクティブラーニングを推進する。 ホームページを更に充実させるとともに、メール配信システムを効果的に活用する。 土曜公開授業や学校説明会、中学校訪問の更なる充実を図り、学校外に対して本校の魅力をもっと発信する。 	<ol style="list-style-type: none"> 国際交流等の取組の実施回数と内容。 資格・検定試験の合格状況、大会の入賞者数。 ホームページの更新回数及び閲覧回数。 土曜公開授業、学校説明会の参加者数やアンケートの満足度。 	<ol style="list-style-type: none"> 海外修学旅行、姉妹校交流(派遣・受入)などにより国際理解を深めた。長期(1年間)留学生2名を派遣し、1名を受入。 インターアクト部がバンコクで開催された高校生英語イベント国際大会に出場。県英語スピーチコンテストで優勝。 随時、ホームページの更新を行い、本校の教育活動を広く発信。昨年同時期からの1年間で71万件を超えるアクセス。(1日2千件近いアクセス) 土曜公開授業では約800名が来校し、夏と秋の学校説明会(14回)では5000名を超える参加者があった。 	A	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の意識を更に高め、より高い志を持ったグローバル人材の育成を図るため、修学旅行等の国際理解教育を再検討する。 高大接続改革も考慮しながら発表・討論などの教育活動を取り入れたアクティブラーニングをより推進させる。 学校からの情報発信は今年度の状況を維持するとともに、メール配信システムをより充実させていく。 学校説明会では、昨年度から部活動の生徒の協力があつたが、今後は「生徒が発表する場面」をより充実させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学から高校までの6年間の教育活動について、小学生やその保護者に対して、より工夫した形での情報発信も必要であると感じる。 大学入試改革については、保護者が心配することも考えられる。学校としても情報発信に努めていただけるとありがたい。 今の状況を考えると、今後は中高一貫教育校が増えていくことが考えられる。本校は、前年度の課題を取り入れながら問題意識を持って教育活動を行っている。是非とも他の学校の手本となるよう努めていただき、本校の教育活動を情報発信して行ってほしい。